

京奈和自動車道(大和北道路) 都市計画(案)説明会の概要(3/11)

対象地域	: 大和郡山市平和地区
日時	: 平成18年6月20日(火) 19:00~20:40
場所	: 平和公民館 1F多目的ホール
出席者	: 165名

【主な質疑応答】

- 防音壁などは工事の段階で説明してもらえるのか。
 - 騒音の基準を越えていれば遮音壁等を設置します。
現在、環境については専門家の委員により審議されており、審議結果がまとまれば公告縦覧により、環境影響評価の結果を公表し、縦覧期間中に説明会も実施します。(県)
- 環境に悪いと思う。現在の国道24号の朝晩のラッシュ時のばい塵、騒音をどの様に考えているのか。
 - 環境についてはまた別途説明させていただきます。現国道24号の交通量は大和北道路に転換されかなり減少すると考えます。
縦覧期間中に環境影響評価準備書の説明会を開催し、説明します。(県)
- 大和郡山市は調整区域が多い。この道路ができて県はどの様に考えているのか。
 - 大和北道路ができた後、沿道の利用状況を見ながら、大和郡山市の意向を聞き、線引き(用途地域の見直し)を考えていきます。(県)
- 平和小学校の通学路に歩道橋があるが、歩道橋について十分な安全対策を検討してもらいたい。
 - 事業実施時に歩道橋にするか地下道にするかも含めて、自治会と協議していきたいと考えています。(国)
- 都市計画の立案の段階で、地表と地下、高架が混在した道路計画の根拠を説明してもらいたい。
 - 平面構造では交差点や事故が多く、設計速度が保てません。そのため事業費を考えると高架構造となりますが、奈良市内は特殊性(世界遺産、文化財、景観、都市部など)を考慮し地下構造としました。(国)
- 延長12kmの中でICを4箇所計画しているが、交通渋滞の原因にならないのか。
 - 各市からのアクセス性を考えて計画しました。奈良市域ではトンネル部分にICが設置困難なためできる限り近いところ、大和郡山市域は東西の軸である九条線に接続するようにICを計画しました。(国)
- ICの間隔はどうか。
 - 名神などの都市間高速はICの間隔が広く、都市高速の阪神高速は狭くなっています。大和北道路は中間的な間隔です。奈良ICか大和郡山北ICを無くすと、どちらかのICに交通が集中するため、各々の市の交通を各ICが受け持つ方が好ましいと考えています。(国)

- 大和北道路ができて国道24号の交通量が増えるのでは。そうすると環境へも影響してくる。環境について、まとめれば説明すると聞いているがどうか。
 - 環境への影響は委員会での審議がまとめれば説明します。大気、騒音、振動などの数値についても、その際公表します。また、この委員会は公開で行っています。(県)
- 計画されている交通量(291~435万台/日)の根拠、現在の交通量を教えて欲しい。
 - 現在の交通量は1日あたり約45,000台~約67,000台です。平成11年の調査を基に、人口、自動車保有台数等の色々な指標を加味して平成42年交通量を予測しています。(国)
- 国道24号沿いの高圧鉄塔は電磁波の関係もあり、どこへ移設するのか。
 - 現在計画している案では鉄塔はかからない案になっています。鉄塔から高架橋の離隔距離の基準もあり、その基準を満たして大和北道路を計画しています。(国)
- 大和郡山北ICが2つに分かれ九条線が関連道路として整備されるが、南側のJR郡山駅からの県道大和郡山上三橋線は整備する可能性があるのか。
 - 現在のところ、県道の整備計画はありません。大和郡山北ICからの交通が入らない様、適切に誘導されるよう案内標識などについて関係機関と協議を進めます。(県)
- 大和郡山ICは、なぜ2箇所に分かれているのか。
 - 当初はまとまった形でICを造ることを考えていましたが、交差点間隔が短く、交差点処理の構造要件を満たさないため、南側のICを設置できる位置まで九条線から離れたため2箇所に分かれています。(国)
- 大和郡山北IC~大和郡山ICの間にICが多いと、高速道路から降りた車がスムーズに流れないのではないのか。
 - 同じ意見を警察から指摘され協議しています。計算上は処理できますが、事業実施時に再度、警察と協議します。(国)
- 下三橋町付近は国道24号の中心に高架道路を造るのか。
 - 国道24号の拡幅は、場所によって異なります。標準部の幅が39m、交差点部は若干広がります。図面で確認して下さい。(国)
- 工事の着手、完成時期、下三橋町区間の都市計画決定はいつか。
 - 事業化の時期は、なるべく早くやりたいと考えています。しかし、地域の皆様との話し合いや用地交渉などの未確定要素が多く、現段階では明言できません。(国)
 - 都市計画決定される時期は、概ね2年ぐらい先と考えています。(県)
- 早く京奈和自動車道を造って頂きたい。
 - 計画決定を早くして、できるだけ早く整備できるように、その整備手法も考えて、皆様が早く利用できるよう、努力していきたくと考えています。(県)

○ 平成42年開通予定と違うのか、ある程度ビジョンができてるのではないか。

→ 開通時期は平成42年ではなく、交通量の予測の時期が平成42年です。事業化もされていない段階でいつ開通するか言えません。公表できる段階で目標年次を示したいと考えています。(国)